令和４年７月度 理事会議事録

東部金属熱処理工業組合

１．招集年月日　令和４年６月２７日（月）
２．開 催 日 時　令和４年７月１９日（火）　１４時３０分～１６時００分
３．開 催 場 所　理事全員の同意により Web 会議システムにより開催
４．理 事 総 数　２４人
５．監 事 総 数　２人
６．出席理事数　２０人（Web 会議システムによる出席１８人）
７．出席監事数　１人（Web 会議システムによる出席　１人）
８．出席理事の氏名

嶋崎 利行、曽根 光彰、南　直樹、玉木 寛之、安室 篤志、山田　毅、齊藤 基樹、池田 隆久、上島　健、秋山 正稔、原田 政吾、田村 大輔、富居 博治、高橋　明、横山 聡洋、竹内 博次、平井 英次、藤田 亮則、後藤 章洋、川村 道夫

９．出席監事の氏名

秦　研二

１０．出席組合員の氏名

出席組合員はいない

１１．議長の氏名

嶋崎 利行

１２．決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

該当する理事はいない

１３．議事の経過の要領及びその結果（議案別の議決の結果、可決、否決の別及び賛否の議決権並びに賛成した理事の氏名及び反対した理事の氏名）

定刻に至り、嶋崎理事長から挨拶があった。挨拶の後、理事会開会を宣し、本日の理事会は Web 会議システムを利用して行う旨を述べ、出席者が一堂に会するのと同等に適時・的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認し、ただちに議事に入った。

第１号議案　創立５０周年記念事業について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から資料に基づき、式典・講演小委員会、の進捗状況について報告があり、創立５０周年記念式典開催要領により講演会講師やイベント（弦楽四重奏）について説明があった。

玉木副理事長から、前段の正副理事長会で検討した結果、式典、講演会、祝賀会のフル開催で行う方針になったことの報告があった。

嶋崎議長から、コロナの感染が拡大している状況だが、予定通り式典、講演会、祝賀会のフル開催で準備を進めたいと説明があった。

山田理事から、講演会講師の津田氏には、「JAXA の事業や業務（プロジェクトや研究等）に関する話」をテーマに依頼していることの説明があった。

嶋崎議長から、こちらからテーマを提案してお願いしたらどうかと提案があった。

山田理事から、提案することになる。

続いて安室専務理事から資料に基づき、表彰小委員会の進捗状況について報告があった。６月の書面理事会で外部表彰の候補者については承認を得られたので、現在申請書類を準備していることの報告があった。内部表彰の理事長表彰及び感謝状の候補者について前段の正副理事長会で検討したことと優良従業員表彰の候補者について組合員に依頼中であることの報告があった。

曽根副理事長から、内部表彰（理事長表彰及び感謝状）について候補者について承認を得たいことの説明があった。事務局から候補者リストの資料が示された。今回は、永年講習会講師を務められた方々に理事長感謝状を贈呈したいと説明があった。

理事長表彰：役員５名、委員２１名、職員２名　※優良従業員は推薦依頼中

理事長感謝状：講師１５名、委員１名、組合員７９社、賛助会員４３社

続いて安室専務理事から資料に基づき、記念誌・記念品小委員会の進捗状況について報告があった。６月の書面理事会で承認いただいた記念品について説明があった。ニッパー型爪切りは発注済み。カレーセットは、数量検討中。フェアトレードコットンバッグは見本を取り寄せ、大きさの検討をしていることの説明があった。記念誌については、表紙の色を印刷会社から提案の中から金色にすることを考え、見本を作成したが、黄色に近いので、検討することになっていることと４０周年記念誌と同様に役員の顔写真を掲載するので、理事・監事各自に写真の用意のお願いがあった

南副理事長から、フェアトレードコットンバッグが当初の物よりサイズを一回り大きくすることになったことの報告があり、見本（①当初のSサイズ、②Mサイズ、③縦長サイズ）が示された。正副理事長会で検討したMサイズの提案があり、全員の承認を得た。記念誌については、表紙の見本を確認して検討したいと説明があった。

嶋崎議長は、創立５０周年記念事業について、議場に諮ったところ、全員異議なく承認された。

第２号議案　令和３年度東京都中小企業団体中央会会長表彰候補者推薦について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事は、東京都中央会表彰規程の推薦基準を朗読したのち、この要件に該当する候補者の経歴概要を説明した。

審議の結果、嶋崎議長より下記の組合功労者１人を推薦することを議場に諮ったところ、全員一致で可決決定した。

組合功労者　　竹内 博次

第３号議案　青年部会の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、６月２４日に開催された令和４年度第１回青年部会について、関東経済産業局から新任の麻生課長以下４名参加があったことの報告と内容について議事録に基づき説明があった。主な内容については以下の通り。

①関東経済産業局カーボンニュートラル推進課からの情報提供について［ア．カーボンニュートラルについて、イ．地域産業によるカーボンニュートラルの取組事例、ウ．経済産業省のカーボンニュートラルに向けた中小企業支援施策、エ．カーボンニュートラルにむけた投資促進税制］、②令和４年度活動計画について［ア．講演会・セミナーの開催、イ．熱処理業界のPR、ウ．関東経済産業局との連携、エ．メンバーからの提案］、③市場動向の情報交換、④次回の開催について。

田村部会長から、セミナーについては、ここ２年コロナにより、賛助会員PR会ができていないため、「カーボンニュートラル」の取組みを行っている賛助会員企業の方のプレゼ

ンテーションと外部講師を招いて行うことを考えている。また、熱処理業界のPRについては、東京都中小企業団体中央会の組合まつりへの参加を検討したいと考えている。６月に山田副部会長の繋がりで島根県の和鋼博物館を訪れ、館長と面談し、PRについて協力を得られることになっている。PRのターゲットを「次世代」として、８月１日に正副部会長会議を開催し、コンセプトや草案について検討する予定でいることの説明があった。

嶋崎議長は、議場に諮ったところ、青年部会活動状況について全員異議なく承認された。

第４号議案　各委員会等の活動状況について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、５月１１日及び７月６日に開催された技術・品質合同委員会について議事録に基づき説明があった。５月の主な内容については、①初級熱処理塾の実施状況、②令和４年度の活動計画（中級熱処理、技能検定試験受験対策講習会、都立産技研センター業種別交流会、実践型熱処理塾、ISO 内部監査員養成研修会、ガス燃焼技術基礎研修会、工場見学会、品質活動発表会）。7 月の主な内容については、①初級熱処理塾アンケート結果や講師の反省会を初めて開催し、情報共有を行ったこと、②中級熱処理の実施状況、③今後の活動計画（技能検定試験受験対策講習会の受講申込状況、都立産技研センター業種別交流会のハイブリッド開催、実践型熱処理塾の開催見送り、ISO 内部監査員養成研修会のアンケート結果からハイブリッド型の検討、ガス燃焼技術基礎研修会の東京ガス㈱からの有償化による検討、工場見学会の中止、品室活動発表会の内容の検討）、④東京都の金属熱処理技能検定試験の状況

横山理事（技術委員長）から、日本金属熱処理工業会で取組んでいる外国人実習制度に関する試行試験については、東京エリアでの開催になるため、東部が中心になって準備・実施することと実施時期が１０月または１１月頃が見込まれているため、そちらを優先で検討しないといけないことの説明があった。

藤田理事（品質委員長）から、ISO 内部監査員養成研修会は、実施する方向で調整したいことの説明があった。

島崎議長から、外国人実習制度について先日第３回専門家会議を通過し、今後試行試験が行われることの説明があり、特に東部の負担が多いことの説明があった。ガス燃焼技術基礎研修会については、講師を招いて行う方法も検討したらどうかと提案があった。

続いて安室専務理事から、５月１３日及び７月８日開催のマーケティング委員会について議事録に基づき説明があった。５月の主な内容については、①令和４年度の活動計画、②価格サポートセミナー、③市場動向に関する情報交換。７月の主な内容については、①価格サポートセミナーのテーマ（価格交渉に関わる資料作り）、②加工価格調査・運送費調査、③市場動向に関する情報交換。

玉木副理事長から、昨年１１月に発信した取引先との価格交渉の際の後押しになる日本金属熱処理工業会会長名の文書について、今年２月の委員会で再度の依頼があったが、発信したばかりで時期尚早となったことの説明があり、７月の委員会の際に再度の発信の要望があったことの報告があった。取引先との１回目の価格交渉を終えたが、エネルギーや副資材の相次ぐ値上げがあり、２回目の価格交渉を行わなければならない状況にあることが理由で、今後嶋崎理事長及び工業会の石原専務理事と検討して行きたいと説明があった。

次に安室専務理事から、６月１７日の今年度第１回総務委員会について議事録に基づき、報告があった。主な内容としては、①令和４年度事業計画について（SDGs の進め方）、②創立５０周年記念事業について、③組合 HP の更新、④日本金属熱処理工業会の外国人実習制度、⑤インボイス制度と電子帳簿保存法に関する情報交換。

曽根副理事長から、外国人実習制度については、東部の役割が多いため、組合員の協力が必要なことと創立５０周年記念事業についても時間があると思っていたが、あと３ヶ月と近づいているので、ご指導をいただき、進めて行きたいと説明があった。

嶋崎議長は、委員会活動について議場に諮ったところ、全員一致で承認された。

第５号議案　報告事項その他について

嶋崎議長の指名により、安室専務理事から、昨年応募した「ものづくり日本大賞」について、昨年１２月に関東経済産業局のヒアリングを受けたが、今回７月２７日に経済産業省のヒアリングを受けることになったことの報告があった。

嶋崎議長から、理事に意見が求められた。

平井理事から、創立５０記念式典については、コロナの感染が急拡大している現状を考えると、３部構成（式典・講演会、祝賀会）の祝賀会についてリスク管理を考えたシナリオを検討すべきではないかと意見があった。

嶋崎議長から、感染防止対策を徹底して行いたいと説明があり、玉木副理事長から、縮小開催も検討しており、信頼して安心して行えるようにしたいと説明があった。

上島理事から､創立５０周年記念誌に組合のロゴマークを入れたらどうかと提案があり、マークの大きさについては、検討して欲しいと意見があり、南副理事長から検討したいと回答があった。

原田理事から、日熱会の情報について質問があり、嶋崎議長から１１月１０日、１１日に西部組合幹事で行われることの説明があった。

富居理事から、電気代が高騰しているので、取引先との価格交渉について文書を出してもらえると助かると意見があった。

竹内理事から、コロナの感染が１日１０万人と拡大している中、来週タイに行くことになっていると報告があった。

高橋理事から、価格交渉に関する情報が欲しいと意見があった。

後藤理事から、５０周年事業の実行委員会メンバーとしてコロナ禍だが、フル開催できるように準備して行きたいと意見があった。

齊藤理事から、５０周年の準備についてお礼と最後の頑張りどころとエールがあった。またエネルギー費の高騰が続いているので、業界としてアクションを起こして欲しいと意見があった。

秦監事から、ISO 内部監査員養成研修会に従業員を派遣したいので、開催をして欲しいと意見があった。

以上をもって、議案全部の審議を終了したので、議長より閉会を告げ散会した。

令和４年７月１９日

東部金属熱処理工業組合理事会

議長理事　　嶋崎 利行　　㊞

出席理事　　曽根 光彰　　㊞

出席理事　南　直樹　㊞

〃　玉木 寛之　㊞

〃　安室 篤志　㊞

〃　山田　毅　㊞

〃　齊藤 基樹　㊞

〃　池田 隆久　㊞

〃　上島　健　㊞

〃　秋山 正稔　㊞

〃　原田 政吾　㊞

〃　田村 大輔　㊞

〃　富居 博治　㊞

〃　髙橋　明　㊞

〃　横山 聡洋　㊞

〃　竹内 博次　㊞

〃　平井 英次　㊞

〃　藤田 亮則　㊞

〃　後藤 章洋　㊞

〃　川村 道夫　㊞

出席監事　秦　研二　㊞